

第1学年 算数科学習指導案

日 時 平成30年11月8日(木)
 児 童 男子8名 女子6名 計14名
 指導者 佐々木 真由美
 ふれあい共育推進員 高橋 祐子

1 単元名 ひきざん (東京書籍1年下)

2 単元の目標

◎11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それをを用いる能力を伸ばす。

3 本時の指導 (2/13)

(1) 目標

○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算で、被減数を分解して計算する方法(減加法)を理解する。

(2) 具体の評価規準

評価の観点	おおむね満足できる	努力を要する児童への手立て
【数学的な考え方】 「13-9」などの計算の仕方を考え、ブロック操作や言葉を用いて説明している。	被減数を10といくつに分解して、10からひく仕方が速く簡単にできることに気づき、ブロック操作で表し、説明している。	一の位からひけない時は、10といくつに着目させ、ブロックのケースを補助にし、10のまとまりの方から操作させるようにする。

(3) 研究主題との関わり

①「伝え合う」活動を行う場面と工夫

ア 課題をつかみ意欲をもたせる場面

見通しの段階で、前時との違いを確認し、課題を全体で「伝え合い」確認をさせる。

エ 考えを交流し、練り合う場面


学級全体で考え方の類似点や相違点、疑問点などについて「伝え合い」をさせる。言葉やブロック操作、式の関連等を問うことで、理解を深めさせる。

②「伝え合う」活動の手立て

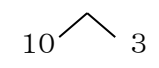
ブロック操作をしながら、自分で話し、ペアや全体で確認させる。その際には、友達の考えをしっかりと聴き、反応させたい。

(4) 展開

段階	学習内容と活動 「予想される児童の反応」	指導上の留意点 ◆研究主題との関わり ◇評価
導入 10分	1 問題を把握する。 くりが 13こ あります。 9こ つかいました。 くりは、なんこ のこって いますか。	◆課題をつかみ意欲を持たせるための「伝え合い」① ア ・これまでの式との違いをペアで言い合わせる。
	○既習事項との違いについて確認する。 ・式 13-9	
	2 学習課題を立てる。 13-9のけいさんの しかたを かんがえよう。 ・どこから9をひくのかな。	・どこから9をひくのかを考えさせる。

<p>展 開</p>	<p>3 学習の見通しをもつ。 ○ブロックを使って考える。</p> <p>4 自力解決をする。 ①数えひき ②減加法 ○話しながら、ブロック操作をする。</p> <p>5 考えを伝え合い、解決する。 ○ブロック操作で説明する。 ①「1ずつ数えてとります。」 ②「10のまとまりから9をとります。」 ○どの方法が速くて、簡単かをみんなで考える。 ○全員で操作を練習する。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 10のまとまりから 9をひいて、のこりをたすとよい。 </div> <p>・13-9</p>  <p>7 適用問題を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ② 「12-9」の計算の仕方を言いましょう。 </div>	<p>・どのように計算したかが分かるように、工夫してブロック操作をさせる。</p> <p>・早くできた児童には、どのようにブロック操作したかをノート（まなびあいボード）に書かせる。</p> <p>・考えがもてない児童には、ブロックのケースを補助にし、10のまとまりの方から操作することを確かめ、一緒に考える。</p> <p>◆考えを交流し、練り合うための「伝え合い」①エ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数えひきと減加法は出るだろうと予想される。減減法が出てこない場合は、あえて取り上げない。 ・それぞれの方法を全児童に再現させる。 ・ブロック操作をふり返りながら、13-9の計算の仕方（減加法）をまとめる。 ・ペアで説明し合って、練習する。 <p>・ブロック操作で表し、説明させる。</p> <p>◆「伝え合う」活動の手立て②ア、イ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【数学的な考え方】 ◇計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明することができる。（ブロック操作、観察、発言）</p> </div>
<p>30分</p>	<p>8 振り返りをする。 ・「10のまとまりから 9をひいて、のこりをたすとかんたんにできたよ。」</p>	<p>・分かったことやがんばったこと、友達のよさなどについて振り返りをさせる。</p>
<p>終末5分</p>		

(5) 板書計画

<p>くりが13こ あります。9こ つかいました。 くりは、なんこ のこっていますか。</p>	<p>④ 13-9の けいさんの しかたを かんがえよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> どこから9をひく </div>	<p>⑤ 10のまとまりから 9をひいて、のこりをたすとよい。</p>
<p>しき 13-9=4 こたえ 4こ</p> <p>1ずつ数えてとる</p> <p>■■■■■■■■■■□ □□□ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 のこり 4</p>	<p>10のまとまりからとる</p> <p>10 と 3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> □□□□□□□□□□ </div> <p>□□□</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> □■■■■■■■■■■□ → </div> <p>□□□</p> <p>1と3で4</p> <p>□ □□□</p>	<p>13-9の けいさんの しかた</p> <p>①3から9はひけない。 ②13を10と3にわける。 ③10から9ひいて1。 ④1と3で4。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em;">13-9</p>  </div> <p>12-9</p>

